

お知らせ

二月例会

・期日 立教180年2月25日
・時間 15時30分受付、16時開始
・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】	日程	会場
・香川	2月11日9時	教務支庁
・和歌山	2月27日10時	教務支庁
【直属】		
・松阪	2月20日12時	大教会
・大島	2月22日12時30分	大教会
・甲府	2月22日12時	大教会
・双名島	2月22日12時	大教会
・越乃國	2月23日12時	大教会
・生野	2月23日12時	大教会
・岡	2月23日13時	大教会
・鐸姫	2月23日12時	分教会
・中和	2月24日11時30分	大教会

報告

十二月例会

去る12月25日、教庁4階講堂に於いて「十二月例会」を開催。出席は36教区、126直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・神奈川	12月2日	教務支庁 50名
		福江副委員長出向
・京都	12月2日	教務支庁 20名
		宮田委員出向
・北海道	12月10日	教務支庁 19名
		葛西委員出向
【直属学生層育成者講習会】		
・網干	12月18日	大教会 210名
		福江副委員長出向

人事

《立教179年12月25日》

【直属学生担当委員長辞令交付】

- ・山本武司（明和・明勇）
- ・寺本健一（中紀・伍郎）
- ・清水庸弘（中背・丹愛湊）

業務記録

《立教179年12月16日～立教180年1月15日》

12月16日	委員会
	担当者活動部部会
	出版部部会
17日	委員会
	ビデオチーム会議
19日	事務局連絡会
21日	『Happist』納品
22日	『Happist』梱包
25日	委員会
	例会
	HARP勉強会
26日	まなびば研究室会議
	まなびばチーム会議
1月4日	おせち学生ひのきしん隊（7日）
5日	学修部部会
6日	学修部部会
8日	委員会
	まなびば研究室会議
9日	学修高校の部研究室会議
	ビデオチーム会議
10日	学修大学の部研究室会議
	学修高校卒業生コース研究室会議
	まなびばチーム会議
11日	人材育成部部会
13日	学生部部会

学生担当者報

Vol.360

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一
[TEL] 0743-63-1511 (内線 5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX] 0743-62-5870
[E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教180年
平成29年1月25日発行



「誠の心」でつとめる学修に、

一人でも多くの受講を！

「学生生徒修養会 大学の部、高校卒業生コース」の開催まで

一ヶ月余りとなりました。「おちば」でお育ていただきました、「卒業後」のような環境においても、教えを抛り所にして過ごしていけるきっかけを、おちばで得てもらいたい」と、申し込まれる育成者の思い、自ら進んで受講を希望する学生たちの期待を尊く受け止め、本期間への準備を進めていきたいと思ひます。

教祖百三十年祭をつとめさせていただいた年が明け、年祭を一節とした十年スパンの活動が始まりました。今、あらためて足元をみつめ、私たちの目的である陽、気、ぐらしの世界実現に向けて歩み出すことが望まれています。

本年の「学修 大学の部」のテーマは「感じよう！表そう！陽気ぐらし」です。仲間と多くの時間を共有しながら、御教えを学び、布教実践を通して信仰の喜びを味わい、陽気ぐらしを感じる、陽気ぐらしを表す一週間を経験し、世界たすけのよう、ぼくとしての一步を踏み出してもらいたいと思ひます。

「学修 高校卒業生コース」ではプログラムを通して、これまで親神様のご守護をいただき、多くの人に支えられてきたご恩に気づき、教祖をより身近に感じ、教祖が望まれることを、喜ばれることを考えるきっかけをもちます。そして自らの信仰を語り合い、教祖の御教えを信仰し高校を卒業するお互いが、これからのどのように歩んでいくのか、決意をもって門出を迎える内容となっています。

学生生徒修養会部 部長

宮田 幸一郎

真柱様は教祖百三十年祭 学生おちばがえり大会で、「道の先輩の言葉によく耳を傾けて、その人たちの心や気持ちを取り取る努力をし、自分を育ててもらいたい」と、私たち育成者を頼りにして育つことを学生たちにお話くださいました。そして、昨年の秋季大祭では、私たちの道徳の者らしい常日ごろの言葉づかいや行動によって、教会長子弟、ようばく、信者子弟の心に、しっかりとした信仰心が芽生え、根づいていくことを仰せくださいました。

スタッフ一同、「誠の心」で受講生と向き合い、信仰の喜びを伝えるとともに自らも共に育つ努力を重ねる決心です。一人でも多くの学生の受講をお待ちしています。

立教百八十年

おせち学生ひのきしん隊 開催報告

新春の親里で開かれた「お節会」に際し、本年も「おせち学生ひのきしん隊」を結成し、「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉にひのきしんに励みました。今回のおせち学生ひのきしん隊には全国各地から三百十九名（高校生百四十七名、大学生百七十二名）の学生が参加し、一月四日から七日まで第三十八母屋にて合宿生活を送りました。

「お節会」では第三、第五会場において、主に給仕や誘導、食器洗いのひのきしんをさせていただきました。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう精一杯のおもてなしを心がけ、ひのきしんを通して学生も多くの喜びを分かち合うことができました。また期間中には三十二名の高校生が別席を運ばせていただきました。

学生たちは、おせち学生ひのきしん隊での

様々な持ち場での自主的な取り組みと人との交流を通して、信仰の喜びを味わい、感謝の心でおちばで伏せ込み、有意義な四日間を過ごしました。

■参加者の声

帰参された方に「ありがとう」や「頑張っ
て」など元気づけられる声をかけていただき、
おもちを美味しそうに食べる姿や笑顔にこ
ちも元気をもらった。

たくさんの方の思いが詰まった真実のおも
ちを給仕させてもらえて本当にありがたいこ
とだと感じた。
(高校生 男子)

初めての参加で不安なところもたくさんあ
ったけど、班の子とも仲良くできて、帰参さ
れた方にも喜んでもらえて、みんなで協力し
てひのきしんができて本当に良い経験になり

ました。とても充実した四日間でした。
(高校生 女子)

親神様からお借りしている身体を使ってひ
のきしんができ、帰参された方に喜んでもら
えたこと、たくさんの方ができたこと、元
気に過ごせたこと、全てがありがたくてとて
も充実した四日間になりました。

(高校生 女子)



立教百八十年 春の学生おちばがえり

決起の集い 開催報告

昨年十二月二十三日から二十五日にかけて、本部第二母屋を会場に「立教百八十年 春の学生おちばがえり 決起の集い」を開催し、三十三教区より六十九名、二十直属教会より三十五名、学生スタッフ四十九名、合計百五十三名が参加しました。

例年はこの時期に、教区行事として冬期教区学生リーダーの集い、直属行事として冬期直属学生リーダー講習会を開催しておりますが、教区、直属学生のリーダーが心を一つに揃え、一人でも多くの仲間と共に「春の学生おちばがえり」へ向かう意識を高める為、冬の行事を統合し開催しました。

初めに、開講式で学生担当委員会 松村孝吉委員長より挨拶の後、全体でウォーミング

アップが行われました。緊張していた参加者は気持ちがほぐれ、次第に集いの雰囲気にな
じんでいきました。その後、天理教学生会委
員長で春学実行委員長の中村勇一より「立教
百八十年 春の学生おちばがえり」開催の思
いと趣旨、スローガンについての話を聞きま
した。

二日目には、おちばに帰ることの重要性に
ついてねりあい、お互いに意識を確認し合う
時間を設け、続いて「おちばに帰ることの大
切さ」について柏原信弘委員より講話があり、
おちばへ帰り集う意識を高める大切な時間と
なりました。その後、参加者自身と教会との
つながりを考える時間を設け、教会の成り立
ち、教会につながることの大切さ、また教会

における青年会、婦人会活動への参加の大切
さについて、それぞれ学びました。

最終日には、春学への意識を高める為に全
体アワーを行い、春学についての疑問や動員
についての悩みなど、問題を解決していくた
めの話し合いを行いました。

その後ブロック単位で全体アワーを振り返
り、春学までの三ヶ月間を各団体でどのよう
に取り組んでいくのかを発表し、班単位に分
れて三日間を通して自分が感じたり学んだこ
とや、春学に向けての一人ひとりの決意を述
べました。

閉講式では学生担当委員会 秋岡正直副委
員長より挨拶があり、宿舎での解散後に「立
教百八十年 春の学生おちばがえり 決起の集
い」の締めくくりとして南門前でよろづよ八
首てをどりまなびをつとめ、教区、直属の一
層の活動の充実と春学動員六千名を目指して
その実動を誓い合いました。

立教180年
学生生徒修養会 大学の部

募集要項

- ▽ 期 間 …… 平成29年3月3日(金)～3月9日(木)
- ▽ 受講資格 …… ①平成29年1月8日現在、大学・短期大学・大学院・専門学校
高等専門学校(4年生以上)に在学している者。
②全期間を通して受講できる者。
- ▽ 募集人員 …… 700名(男子350名、女子350名)
- ▽ 内 容 …… 講義、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練(おつとめ勉強)など。
期間中に別席を1席運べる日を設けます。
- ▽ 集 合 …… 3月3日 正午～12時30分に指定された宿舎に集合してください。
- ▽ 解 散 …… 3月9日 午前10時頃、各宿舎にて
- ▽ 受講御供 …… 8,000円 詰所(直属学生担当委員会)に納めてください。

申し込み方法

- ▽ 申込方法 …… 下記の書類をととのえ、最上級教会長の署名・捺印をいただいた後、
学生担当委員会事務局に申し込んでください。
- ・受講願書1通 ※特に学年の記入間違いのないようお願いいたします。
 - ・返信用封筒1枚(住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付してください)
- ▽ 受付期間 …… 平成29年1月8日～2月25日
(事務処理の関係上、願書はなるべく2月15日までに提出してください)

※ 受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて2月15日以降、随時本人に郵送いたします。
また、2月15日以降はTSA websiteでも詳細、必要事項が確認できますのでご利用ください。

※ 受講願書は学生担当委員会事務局、直属学生担当委員会、各教務支庁にあります。

問い合わせ先

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 学生担当委員会事務局
《郵便》〒632-8790 天理郵便局私書箱1号
《電話》0743-63-2489(学生担当委員会事務局直通)/ FAX 0743-62-5780

主催・・・天理教教会本部 事務局・・・天理教学生担当委員会

立教180年
教区・直属育成に役立つ講習会 開催要項

日々は学生層育成の上にご丹精くださり誠にありがとうございます。
本講習会は、昨年まで「教区・直属HARP講習会」として開催していたのですが、幅広いニーズに応じることができるよう、「教区・直属 育成に役立つ講習会」として名称及び内容を改めました。
参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高めるためにも有効な講習会です。開催を希望されます教区、直属は下記の要項に沿ってお申し込みください。

記

- ◎ 内 容 各教区、直属のニーズに合わせて相談の上、講習会のプログラムを作成します。
例) ・とにかくHARPを体験したい
・行事で使えるエクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい
・トレーナーができるスタッフを増やしたい
・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど
- ◎ 講師派遣 委員1名、本部スタッフ若干名(受講者数により決定)が出向します。
※派遣にかかる交通費は本部学生担当委員会にて負担します。
- ◎ 開催要件 1泊2日かつ実質10時間以上の講義・実習時間が確保できることが望ましい。
開催日は本会行事(学生生徒修養会・春の学生おぢばがえりなど)に重ならないこと。
- ◎ 申し込み 開催2ヶ月前までに所定の用紙にてお申し込みください。

「まなびば」開催会場一覧 《2月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
群馬	2月4日13時～5日16時	教務支庁	番場	
奈良	2月4日13時30分～5日15時	敷島詰所	梅本	
京都	2月4日13時～5日15時	宮津分教会	中島	
宮城	2月18日13時～19日12時	教務支庁	山本	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

本の名は。『Happist』

2月は『Happist』新規購読推進月間です！

学生担当委員会では、2月を「Happist」新規購読推進月間」として、次のような取り組みをいたします。

1、**中学3年生（4月より高校1年生）への呼び掛け**

表統領室調査情報課の「教会長・布教所長家族及び住込人名簿」に基づき、中学3年生を対象に「卒業お祝いカード」と「Happist」創刊30周年記念クリアファイル」を添えて、『Happist』2月号を贈呈し、4月からの購読を呼び掛けます。

この2月号には、特集や連載企画に加え、おちばや各地で開催される諸行事を紹介したカラーグラビア「TSA PERFECT GUIDE」を綴じています。

ぜひ新高校1年生の手に『Happist』を届け、お道の高校生として信仰心を持った学校生活を送ってもらいたいと思います。

2、『Happist』創刊30周年記念クリアファイルの進呈

『Happist』は今年8月、創刊30周年を迎えます。そこでこのたび、授業中や自宅学習など、いつでもどこでも『Happist』をより身近に感じてもらうようと『Happist』創刊30周年記念クリアファイル」を作成しました。このクリアファイルは『Happist』がちょうど収まり、席札なども保管できる、使いやすいサイズになっています。今回は特別に新規購読者だけでなく、現在購読中の方にも一冊につき一部進呈いたします。

購読推進の上にこの「クリアファイル」をぜひ有効にご活用ください。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
『Happist』を携え、月に一度は学生の元へ足を運び、声を掛ける。直接手渡せなくても、手紙を添えるなど、地道な働きかけを繰り返していくうちに、その学生とのつながりはより一層深まることでしょう。

さらに、学生から友人へと『Happist』が渡れば、その友人は自然とお道の教えに触れることができます。これは学生にもできるに在りけであり、「次代を担うようばくへ」と学生自身が成人の歩みを進めることにつながると思います。

僕は中学3年生です。教会の会長さんや高校生から学修の話を聞いていましたが、いまひとつ関心を持てずにいました。でも、今回学修の特集記事を見て、とても楽しそうだと思いました。早く高校生になって学修に参加したいです。（Happist三六号より）
『Happist』のおかげで友人が天理教に興味を持つようになりました。来年は私の直属教会から一緒に春学に行こうと言ってくれています。（Happist二九号より）

学生担当の先生方には、新規購読推進月間をきっかけに、学生への積極的な購読の呼び掛けと、日々のつながりとして一人でも多くの学生に『Happist』が届きますよう、お力添えの程をよろしくお願いいたします。

Happist Photo Gallery

おせち 立教180年1/4～1/7
学生ひのきしん隊



行事中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています！

内 容 : おせち学生ひのきしん隊
頒布期間 : 平成29年1月25日～4月24日
購入方法 : パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード(各行事で異なります)を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードの内容については、参加者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧ください。学生担当委員会事務局(☎0743-63-2489)までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。
頒布価格 : L版40円 2L版100円 ※別途送料が必要です。
U R L : <http://11kao.jp/>

Happist 3月号 予告

【特集】文房具とワタシ

連載

- ・教理コーナー
明日を展くをやの言葉 佐藤 浩司 (天理大学名誉教授)
- ・輝く生き方見つけよう
Key Person 儀間 太久実 (口笛奏者)
- ・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 伊藤 教江 (幅下大教会長夫人)
- ・人生を彩る1冊をあなたに。
虹色のしおり 上田 和子 (浪華分教会教人)

個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

青 空

教祖百三十年祭の年も終わり、新しい塚への出発となりました。教会長として様々な喜び、悲しみの姿を見せていただき通らせていただきました。
天理高校に通う長女も三年生となり、大学進学も推薦で合格しました。長女は親元を離れてみのり寮で過ごし、特に担当幹事のNさんには大変お世話になりました。そのNさんの名前や姿に、ふと自身身の大学時代を思い出すことができました。
大学四年の時、学修大学の部に参加した班のカウンセラーさんの名前と姿に似ていると感じて、寮に赴いた時、Nさんにお父さんはこんな方ですか？と質問すると、驚く事に思っていたカウンセラーさんの長女さんとの事が分かり不思議な縁を感じました。
そして十一月の本部月次祭では北礼拝場で参拝中、隣に座られた男の方が偶然にもN先生だったのです。二十九年振りの再会を神様が見せてくれました。
教祖が赤衣の袖の内側に不思議な姿を見せてくれた逸話がありますが、親子でおちば、でお世話になり、おちばは鏡やしきであり、教祖は今も私達に喜びと不思議な姿を見せ、お働き下さっていると強く感じる出来事でありました。
「教祖、親子共々にお育て下さり、どうもありがとうございます」
香川教区学生担当委員会前委員長 河野和教